

TAISEI

Circle

たいせいサークル

2005年度事業報告書



For a Lively World



経営理念

使命

人がいきいきとする環境を創造する

経営姿勢

生活者の発想をもって顧客の満足を得る
新しい価値の創造にまっ先に挑戦する
多様なものの見方、考え方を尊重する
人と自然の関係を大切にする

行動指針

互いに信頼し協力する	(Trust)
広く社内外の能力を結集する	(Arrange)
つねに改善、改革に努める	(Innovation)
まず踏み出す勇気を持つ	(Step forward)
自然に学び、それを活かす	(Environment)
見えているものの先を見る	(Insight)
ゆとりを持って明るく行動する	(LIVELY)

LIVELY TAISEI

表紙：瀬戸大橋（木版画）門脇俊一1988年制作

～門脇俊一画伯 プロフィール～

“現代の浮世絵師”と称され、日本の画壇において独自の地位を築いている門脇俊一画伯（1913年～）は、自然や風物、人物をテーマに、木版画をはじめ、水彩や油絵、屏風画など多彩な表現方法で数多くの作品を手掛けています。当社では、1981年から2004年まで、創作版画「四季の風俗」シリーズを毎年カレンダーとして制作していただいていた。

C O N T E N T S

株主の皆様へ 社長 葉山 莞児	4
--------------------	---

FINANCIAL DATA

業績の推移	6
2005年度決算のご報告	10
2005年度連結決算のご報告	14

ECOLOGICAL SOLUTION

微生物の力を借りて、 土壌汚染を分解・無害化	18
---------------------------	----

TAISEI NOW

“月からも見える？” 巨大人工島で 海底トンネルを施工中！	20
セーフティ&セキュリティ ビルディング	22

UNDER CONSTRUCTION

主な施工中工事のご紹介	24
-------------	----

CONTRACTS RECEIVED

主な受注工事のご紹介	26
------------	----

CONSTRUCTION COMPLETED

主な完成工事のご紹介	28
------------	----

株式の状況	30
-------	----

会社の概要	32
-------	----

株主メモ	34
------	----

株主の皆様へ



社長

葉山 亮児

4 株主の皆様におかれましては平素よりご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

建設投資は景気回復を受けて民間投資は順調でしたが、歳出抑制により公共投資は引き続き減少しました。また依然として建設市場における需給ギャップが解消しないことから価格競争が続いております。

こうした状況下のもと当社は「受注の拡大」「収益力の強化」「新たな生産体制の構築」の3点を重点施策として掲げ、成果を上げてまいりました。

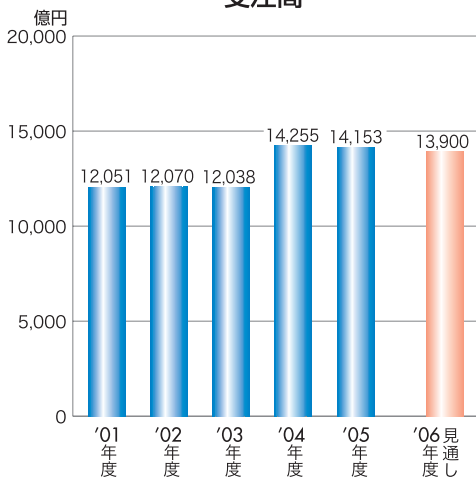
2006年度は中期経営計画の最終年度にあたります。2005年度の厳しい経営環境下において一定の成果を上げた3点の重点施策を更に強化し、目標達成を目指してまいります。

また耐震偽装問題や官製談合などにより建設業界に対する社会的な信頼が揺らいでいます。当社においても防衛施設庁の工事発注に関して営業担当者が略式命令を受け、大変遺憾に思っております。今後は業界のトップ企業としてコンプライアンスの徹底、信頼性の回復に真摯にかつ率先して取り組み、社会的責任を果たしてまいります。

なお当下半期の配当金は1株につき3円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

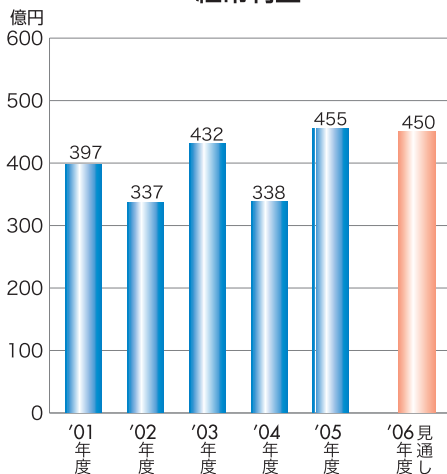
● 単体

受注高

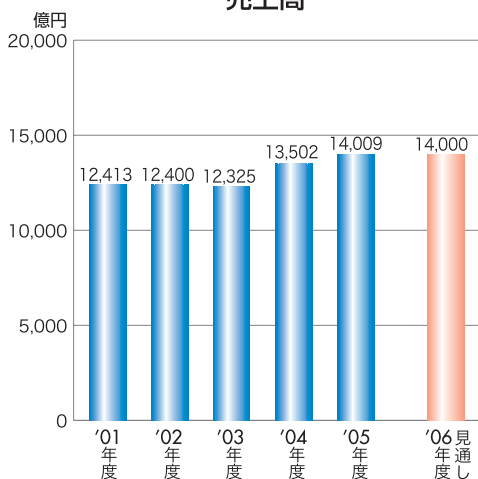


6

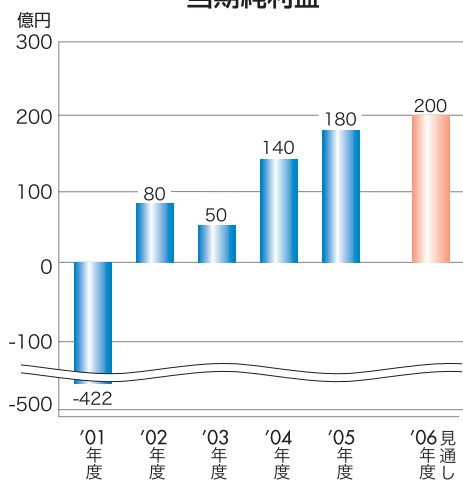
経常利益



売上高

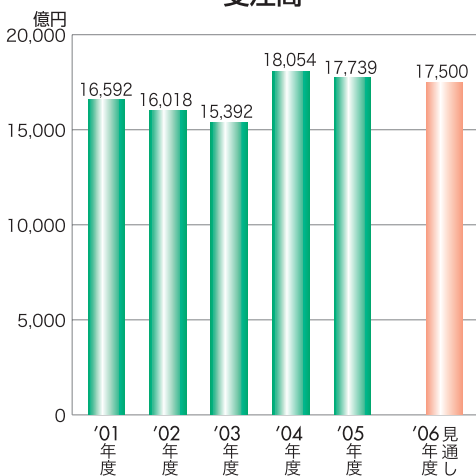


当期純利益



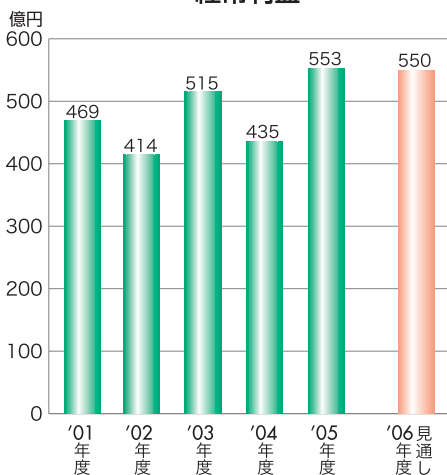
● **連結** (連結子会社48社 持分法適用関連会社9社)

受注高

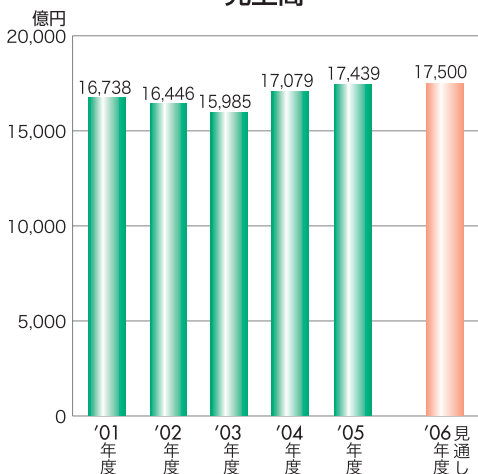


8

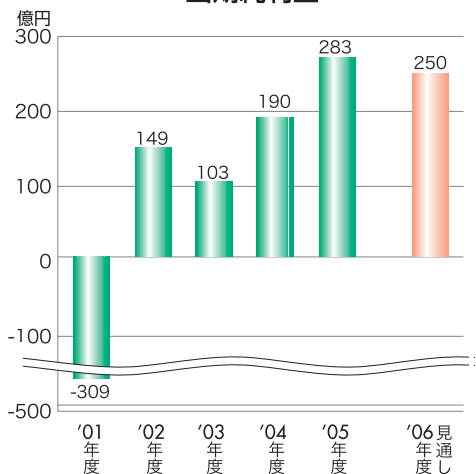
経常利益



売上高



当期純利益



2005年度決算のご報告

F I

● 貸借対照表の要旨

(2006年3月31日現在)

(単位:億円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	8,714	流 動 負 債	9,055
現金預金	885	支払手形	298
受取手形	100	工事未払金	3,903
完成工事未収入金	3,424	短期借入金	1,339
販売用不動産	721	一年以内償還の社債	200
未成工事支出金	2,151	未払法人税等	17
開発事業等支出金	231	未成工事受入金	1,935
繰延税金資産	492	預り金	1,046
未収入金	624	完成工事補償引当金	15
その他流動資産	86	工事損失引当金	75
貸倒引当金	△3	その他流動負債	223
固 定 資 産	6,611	固 定 負 債	2,828
有形固定資産	1,357	社債	650
建物・構築物	372	長期借入金	1,629
機械・運搬具	49	長期繰延税金負債	115
工具器具・備品	10	退職給付引当金	190
土地	908	役員退職慰労引当金	14
建設仮勘定	16	関係会社投資等損失引当金	80
無形固定資産	71	環境対策引当金	3
投資その他の資産	5,182	その他固定負債	143
投資有価証券	3,468	負 債 合 計	11,884
関係会社株式・関係会社出資金	592	資 本 の 部	
長期貸付金	589	資 本 金	1,124
破産債権、更生債権等	17	資本剰余金	794
長期前払費用	7	資本準備金	417
長期保証金	162	その他資本剰余金	376
長期営業外未収入金	447	資本金及び資本準備金減少差益	376
その他投資等	204	自己株式処分差益	0
貸倒引当金	△306	利益剰余金	559
資 産 合 計	15,325	任意積立金	355
		固定資産圧縮積立金	30
		別途積立金	325
		当期末処分利益	204
		株式等評価差額金	963
		自己株式	△1
		資 本 合 計	3,441
		負 債 資 本 合 計	15,325

- (注) 1. 関係会社に対する短期金銭債権 154億円
 関係会社に対する長期金銭債権 595億円
 関係会社に対する短期金銭債務 627億円
 関係会社に対する長期金銭債務 1億円
2. 商法施行規則第124条第3号に規定する配当制限額
 資産の時価評価により増加した純資産額 965億円
3. 担保に供している資産
- | | |
|--------|-----|
| 販売用不動産 | 7億円 |
| 投資有価証券 | 0億円 |
| 関係会社株式 | 6億円 |
| 長期貸付金 | 4億円 |
| その他投資等 | 0億円 |
- 計 19億円
4. 偶発債務
- | | |
|------------------------------|-------|
| (1) 保証債務額 | 131億円 |
| (2) 社債の信託型デット・アサンプションに係る偶発債務 | 100億円 |
5. 有形固定資産の減価償却累計額 628億円

● 損益計算書の要旨

(2005年4月1日から
2006年3月31日まで)

(単位:億円)

経常損益の部	
営業損益	
売上高	14,009
完成工事高	13,496
開発事業等売上高	513
売上原価	12,918
完成工事原価	12,493
開発事業等売上原価	425
売上総利益	1,090
完成工事総利益	1,003
開発事業等売上総利益	87
販売費及び一般管理費	651
営業利益	439
営業外損益	
営業外収益	106
受取利息配当金	76
為替差益	12
匿名組合投資収益	14
その他営業外収益	3
営業外費用	89
支払利息	60
貸倒引当金繰入額	10
貸倒損失	0
租税公課	10
その他営業外費用	8
経常利益	455
特別損益の部	
特別利益	76
投資有価証券売却益	46
その他特別利益	29
特別損失	186
固定資産売却損	75
販売用不動産評価損	31
関連事業損失	51
その他特別損失	28
税引前当期純利益	345
法人税、住民税及び事業税	32
法人税等調整額	132
当期純利益	180
前期繰越利益	56
中間配当額	31
当期末処分利益	204

- (注) 1. 工事進行基準による完成工事高 5,946億円
 2. 売上高のうち関係会社に対する部分 417億円
 3. 売上原価のうち関係会社からの仕入高 1,316億円
 4. 関係会社との営業取引以外の取引高 8億円
 5. 一株当たりの当期純利益 16円87銭

● 利益処分

当期末処分利益		円
		20,457,673,546
任意積立金取崩額	円	
固定資産圧縮積立金取崩額	2,570,976	2,570,976
合　　計		20,460,244,522
利　益　処　分　額		
株主配当金	(一株につき3円)	
	3,193,191,114	
取締役賞与金	72,800,000	
任意積立金		
別途積立金	10,000,000,000	13,265,991,114
次期繰越利益		<u>7,194,253,408</u>

(注) 2005年12月6日に、3,193,325,487円（一株につき3円）の中間配当を実施した。

● 決算のポイント

◆ 貸借対照表について

総資産(資産合計)につきましては、株式相場の上昇により投資有価証券が増加した一方、現金預金、繰延税金資産の減少等により前年度比0.8%減となりました。

純資産(資本合計)につきましては、当期純利益の計上及び株式等評価差額金の増加により前年度比28.7%増となりました。

◆ 損益計算書について

売上高につきましては、国内土木工事等の増加により前年度比3.8%増の1兆4,009億円となりました。

経常利益につきましては、売上総利益の増加、販管費の削減、営業外損益の好転などにより前年度比34.5%増の455億円となりました。

当期純利益につきましても前年度比28.1%増の180億円となりました。

2005年度連結決算のご報告

FI

● 連結貸借対照表の要旨

(2006年3月31日現在)

(単位:億円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	10,787	流動負債	10,843
現金預金	1,248	支払手形・工事未払金等	5,050
受取手形・完成工事未収入金等	4,258	短期借入金	2,036
未成工事支出金等	2,416	一年以内償還の社債	210
たな卸不動産	1,593	未成工事受入金	2,134
繰延税金資産	527	預り金	966
その他流動資産	755	完成工事補償引当金	23
貸倒引当金	△13	工事損失引当金	79
固定資産	7,683	その他流動負債	342
有形固定資産	2,927	固定負債	3,888
建物・構築物	951	社債	650
機械・運搬具・工具器具備品	136	長期借入金	2,072
土地	1,820	長期繰延税金負債	240
建設仮勘定	19	再評価に係る繰延税金負債	91
無形固定資産	111	退職給付引当金	381
投資その他の資産	4,644	役員退職慰労引当金	23
投資有価証券	3,657	環境対策引当金	4
長期繰延税金資産	135	その他固定負債	424
その他投資等	935	負債合計	14,731
貸倒引当金	△84	少数株主持分	
		少数株主持分	288
		資本の部	
		資本金	1,124
		資本剰余金	794
		利益剰余金	541
		土地再評価差額金	△9
		株式等評価差額金	1,012
		為替換算調整勘定	△10
		自己株式	△1
		資本合計	3,451
資産合計	18,471	負債、少数株主持分及び資本合計	18,471

(注) 1. 担保に供している資産

現金預金	17億円
たな卸不動産	7億円
建物・構築物	148億円
土地	159億円
投資有価証券	9億円
その他投資	11億円

計 355億円

2. 偶発債務

(1) 保証債務額	98億円
(2) 社債の信託型ネット・アソシエーションに係る偶発債務	100億円

3. 有形固定資産の減価償却累計額 1,468億円

● 連結損益計算書の要旨

(2005年4月1日から
2006年3月31日まで)

(単位:億円)

経常損益の部	
営業損益	
売上高	17,439
完成工事高	15,432
開発事業等売上高	2,007
売上原価	15,761
完成工事原価	14,185
開発事業等売上原価	1,575
売上総利益	1,678
完成工事総利益	1,247
開発事業等売上総利益	431
販売費及び一般管理費	1,127
営業利益	551
営業外損益	
営業外収益	111
受取利息配当金	71
為替差益	15
匿名組合投資収益	14
その他営業外収益	11
営業外費用	109
支払利息	76
貸倒引当金繰入額	12
貸倒損失	0
その他営業外費用	20
経常利益	553
特別損益の部	
特別利益	83
前期損益修正益	15
固定資産売却益	20
投資有価証券売却益	47
その他特別利益	1
特別損失	136
固定資産売却損	39
販売用不動産評価損	34
その他特別損失	62
税金等調整前当期純利益	500
法人税、住民税及び事業税	51
法人税等調整額	139
少数株主利益	26
当期純利益	283

(注) 1. 工事進行基準による完成工事高
2. 一株当たりの当期純利益

6,229億円
26円57銭

● 決算のポイント

◆ 貸借対照表について

総資産(資産合計)につきましては、現金預金、繰延税金資産等が減少したものの、株式相場上昇による投資有価証券の増加等により前年度比1.8%増となりました。

純資産(資本合計)につきましては、当期純利益の計上及び株式等評価差額金の増加により前年度比33.9%増となりました。

◆ 損益計算書について

売上高につきましては、主に当社が増収となったこと等により前年度比2.1%増の1兆7,439億円となりました。

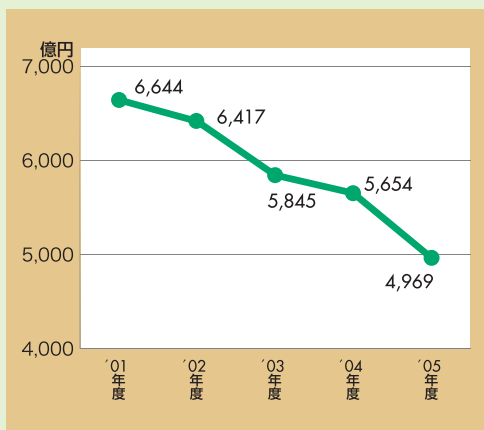
経常利益につきましては、主に当社が増益となったこと等により前年度比27.1%増の553億円となりました。

当期純利益につきましても前年度比48.5%増の283億円となりました。

● 主たる連結子会社

大成ロテック(株)	東証一部上場
有楽土地(株)	東証二部上場
大成ユーレック(株)	
大成設備(株)	
大成サービス(株)	
成和リニューアルワークス(株)	
大成建設ハウジング東京(株)	※2006年4月1日、住宅系子会社は大成建設ハウジング(株)に統合いたしました。
ケーヨーリゾート開発(株)	
大成コンストラクション	
有楽土地住宅販売(株)	他

● 有利子負債残高



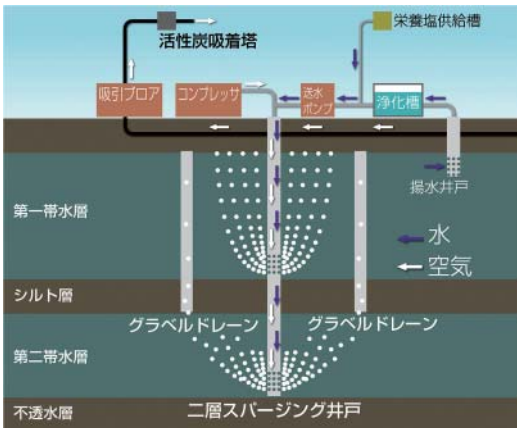


微生物の力を借りて、 土壌汚染を分解・無害化

土壌浄化期間が、従来の約2分の1に。
土木学会環境賞を受賞した
注目のバイオ浄化技術

2003年の土壌汚染対策法の施行や環境意識の社会的な高まりを受けて、土地の売買や再開発の際に土壌汚染調査や対策工事を行う事例が急増しており、より安全で効率的な浄化工法の開発が求められています。このたび、大成建設では、東邦ガス(株)と共同でベンゼンやシアンなどの汚染物質を効率的に浄化できる「注水バイオスパーキング工法」(特許出願中)を開発しました。

今回の工法に採用されたバイオ浄化とは、微生物



物の働きを利用して土壌内の汚染物質を分解・無害化する技術のこと。もともと地盤内に棲息する微生物を利用するため、低コストで安全性の高い工法として注目を集めていました。しかし、従来工法では、微生物を効率的に活性化できないなど、確実性が低く、また、長期にわたる浄化期間が必要とされてきました。

今回、開発した「注水バイオスパーキング工法」は汚染土壌に井戸を掘削し空気と微生物活性剤を含んだ水を同時に地盤内に供給する新しい工法です。これによって活性剤が地盤内に均一に供給され、微生物の活性化を長期間安定的に維持することが可能となりました。

現在、東邦ガス(株)の工場跡地において、国内最大規模の浄化対策を行っています。事前に実施した実証実験では開始して約半年が経過した時点で、地下水中のベンゼンの約98%が除去され環境基準値を大幅に下回る結果となりました。

1年以上かかっていた従来工法との比較において大幅な工期短縮、コストの低減が実証されました。



今年3月に環境省から油汚染対策ガイドラインが発表され、土壌汚染対策へのニーズはさらに高まると予測されています。今後は、当技術を大成建設の切り札として、油類の使用履歴のある工場やガソリンスタンドなどへ積極的な適用を図っていく予定です。なお、本技術は平成17年度土木学会環境賞を受賞しました。

「大成建設CSR報告書2006」は7月末発行の予定です。ご希望の方は、t-csr@pub.taisei.co.jpまでご連絡ください。追って送付いたします。

企業の環境保全への取り組みを評価する「2005年度日経環境経営度調査」において、大成建設は、建設業界第一位に選ばれました。

“月からも見える？” 巨大人工島で 海底トンネルを施工中！



20

大規模な送水管建設の実績をはじめ、アラブ首長国連邦（UAE）は、近年、大成建設が積極的な事業展開を進めている地域です。なかでもドバイ首長国は石油依存型経済からの脱却をめざし、観光産業を中心にすえた国家プロジェクトを推進しており、世界一の高さとなる高層ビルの建設をはじめ、古代都市をテーマにした宅地開発、さらに海中ホテルにいたるまで、世界でも異彩を放つプロジェクトが発表されています。

そんな大型プロジェクトの先駆けとして、また、欧米の著名人たちが高級ヴィラを購入したとの噂も手伝って、世界中の注目を集めているのが、ジュメイラ地区にある巨大な人工島「パーム・アイランド」です。既に島全体の埋め立てが完了しており、パームツリーをかたどった姿は、“月からも見える人工島”がキャッチフレーズ。

その「パーム・アイランド」で大成建設が現在、施工中なのが、パームツリー本島と外環島を結ぶ

海底トンネル。当初は沈埋トンネル工法が想定されていましたが、海を堰き止めて開削でトンネルを構築するという意表をつく工法で応札し、欧米の競合を退けて受注に至りました。大成建設案のメリットは、工事期間中、海を堰き止めている築堤が本島から外環島に通じる仮設道路として利用できること。このことにより、船を利用していた資・機材の運搬が劇的に改善されるなど、大胆な発想が高く評価されました。

発注元は、地元UAEばかりでなく諸外国や地域で幅広く開発事業を手がける、ドバイ首長国の公営不動産開発会社「ナキール社」。大成建設では同社がドバイで進める超高層ビル「アルマスタワー」や北アフリカ・ジブチ共和国における高級ホテル「ケンピンスキーホテル」建設を新たに受注するなど、より一層の関係強化を図り、世界規模で大成建設ブランドの価値向上に努めています。

海洋生物救出大作戦！

今回の海底トンネル工事では、海域を築堤と止水矢板で閉切り、ドライヤードを確保して施工するため、仮閉切り内で海水の循環がなくなり残された魚たちが死んでしまう恐れがありました。そこで、地元の専門業者の協力のもと、エサを入れたケージを使って魚を捕獲しては外洋に放すという地道な作業を2ヶ月間にわたって行い、多くの魚を救出しました。環境対策として大成建設の提案によって行われた魚たちの捕獲・放流プロジェクトは、地元の新聞に大きく紹介されるなど、ドバイ首長国においても環境に配慮した大成建設のマネジメント力が高く評価されました。



セーフティ&セキュリティ ビルディング

**安全の確保から、安心の継続へ。
お客さまに最適なソリューションを提供します。**

地震などの自然災害や犯罪等のリスクを回避し、事業の継続を図る危機管理対策があらゆる企業に求められています。大成建設では「セーフティ&セキュリティ・ビルディング」を目標に、お客さまの個々のニーズに対応して、大切な資産を守るトータルなソリューションを提供しています。

微振動制御と免震性能を同時実現。
災害に強い電子デバイス、工場をつくる
MIC免震システム (Micro-vibration Controlled)

半導体工場などの電子デバイス施設に不可欠な微振動制御と免震性能を同時に実現した、世界初の免震システムがMIC免震システムです。富士通三重工場において世界で初めて採用され、地震被害リスクを大幅に低減。世界への製品安定供給に貢献しています。



安全性に加えて居住性も向上。コンピュータ制御技術を応用した
Semiack (セミアック) 免震システム

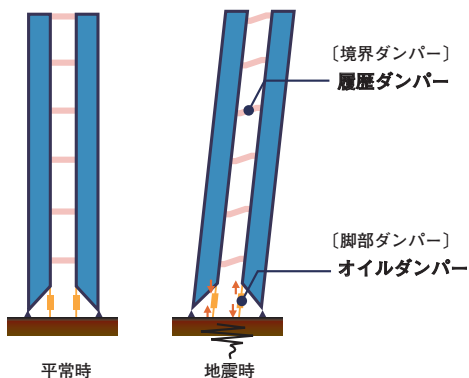
センサーによって建物の揺れを常時モニター。地震などの揺れに応じてダンパーの減衰性能を制御することによって揺れを吸収します。揺れの大きさに関わらず、コンピュータによって最適な免震効果が得られるのが最大の特徴。Semiack免震システムは、慶應義塾大学三田新校舎（2005.3月竣工）に初適用されました。



モニタリングにより高性能・長寿命を可能にした
知的制振システムTASMO(タスモ)
 (TAisei Smart MOonitoring system)

エレベーター・階段などのスペース(コア)に制振装置を集中配置。履歴ダンパーを常時モニタリングして必要に応じてパーツを交換することで優れた構造安全性を長期間維持し続けることが可能です。脚部には、オイル制御ダンパーを採用。広々とした無柱空間など、より自由度の高い建築計画を可能にしています。

【制振ダンパー配置例】



大切な情報資産を確実に管理。
 高度なセキュリティシステムを構築する
BS7799 & ISMS

情報セキュリティ管理システムの国際的規格「BS7799」を建設業では世界で初めて取得。さらに経済産業省認定のISMS認証のノウハウを融合し、お客さまに対して、セキュリティシステムの構築、運営までをトータルに提供しています。





西山浄土宗
総持寺本堂保存修理工事
(和歌山県和歌山市)



大保本ダム本体建設第一期工事
(沖縄県国頭郡)



(仮称) ザ・ペニンシュラ東京新築工事
(東京都千代田区)



13号線新宿七丁目二工区土木工事
(東京都新宿区)

主な施工中工事のご紹介

UNDE



マレーシア ジマ石炭火力発電所建設工事
(マレーシア)

26

主な受注工事のご紹介

CON

物件名		
カタール	新ドーハ国際空港旅客ターミナル複合施設新築工事 (仮称) 汐留I-2プロジェクト新築工事	
富士見二丁目北部地区第一種市街地再開発事業ビル	新築工事 (仮称)	
スリランカ	南部高速道路開発計画 (第2期)	スリラ
奈良県川上村	白屋地区地すべり対策工事	



フィリピン イロイロ新空港建設工事
(フィリピン共和国)

TRACTS RECEIVED

所在地	発注者
カタール国	新ドーハ国際空港運営委員会
東京都	三菱UFJ信託銀行(株)
東京都	富士見二丁目北部地区市街地再開発組合
スリランカ民主社会主義共和国	スリランカ政府道路開発庁
奈良県	近畿地方整備局(建設局)



川口1丁目1番第一種市街地再開発事業
施設建築物等建設工事
(埼玉県川口市)
発注者:川口1丁目市街地再開発組合



日本橋浜町三丁目西部地区第一種市街地再開発事業
施設建築物建設工事(住宅棟)
(東京都中央区)
発注者:日本橋浜町三丁目西部地区市街地再開発組合



フィリピン セブ南海岸道路 第3工区（橋梁工事）
（フィリピン共和国セブ市）
発注者：フィリピン政府公共事業道路省



高速電気軌道第8号線
地下鉄線路および緑橋停留場工事（6工区）
（大阪府大阪市）
発注者：大阪市交通局



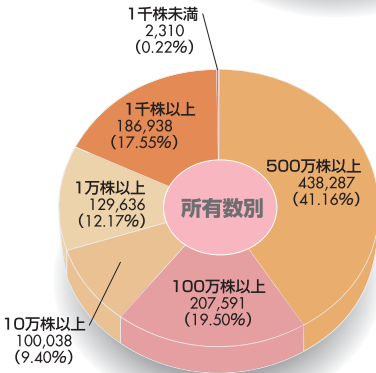
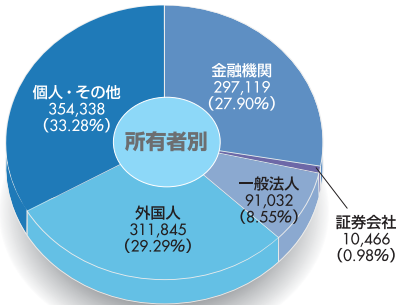
長岡中央総合病院移転新築工事
（新潟県長岡市）
発注者：新潟県厚生農業協同組合連合会

株式の状況

1 株式の異動

会社が発行する株式の総数	2,200,000,000株
発行済株式総数	1,064,802,821株
当期末株主数	104,064名
当期中の名義書換件数	3,227件
当期中の名義書換株式数	60,744,283株

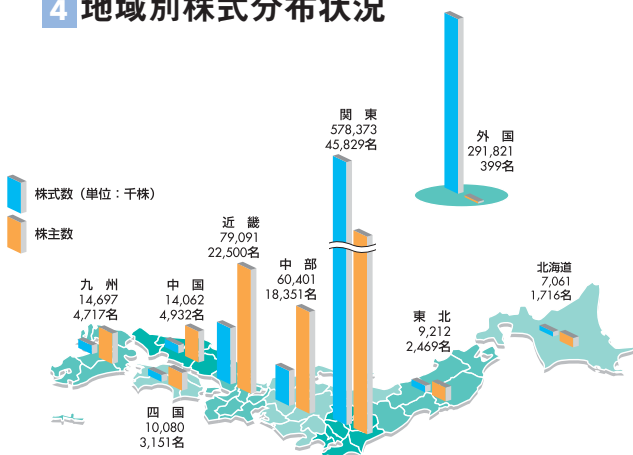
2 株式分布状況 (単位：千株)



3 株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	63,878	6.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	38,693	3.63
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	36,084	3.39
大成建設社員持株会	27,322	2.57
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口	23,180	2.18
大成建設取引先持株会	19,842	1.86
三菱地所株式会社	17,604	1.65
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	16,108	1.51
明治安田生命保険相互会社	15,741	1.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	14,166	1.33

4 地域別株式分布状況



会社の概要

■商号

大成建設株式会社
(英文名 TAISEI CORPORATION)

■設立年月日

1917年(大正6年)12月28日

■資本金

112,448,298,842円

■本店

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号
新宿センタービル
電話03(3348)1111

■従業員数 9,465名

■支店(2006年4月1日現在)

東京支店(東京都新宿区)	横浜支店(横浜市)
関西支店(大阪市)	北信越支店(新潟市)
名古屋支店(名古屋市)	四国支店(高松市)
九州支店(福岡市)	千葉支店(千葉市)
札幌支店(札幌市)	関東支店(さいたま市)
東北支店(仙台市)	神戸支店(神戸市)
広島支店(広島市)	京都支店(京都市)

■事業本部(2006年4月1日現在)

住宅事業本部
国際事業本部(国際建築支店・国際土木支店)

■技術センター(横浜市)

■国内営業所等 68か所

■海外営業所(2006年4月1日現在)

ソウル営業所	インド営業所(ニューデリー)
台北営業所	中東営業所(アブダビ)
高雄営業所	北アフリカ営業所(トリポリ)
フィリピン営業所(マニラ)	ヨーロッパ営業所(フランクフルト)
ミャンマー営業所(ヤンゴン)	アメリカ営業所(カリフォルニア)
クアラルンプール営業所	ペルー営業所(リマ)
ジャカルタ営業所	

■子会社等

大成ロテック株式会社(東京都中央区)
有楽土地株式会社(東京都中央区)
大成ユーレック株式会社(東京都品川区)
大成設備株式会社(東京都新宿区)
大成サービス株式会社(東京都中央区)

■役員 (2006年4月1日現在)

●取締役

取締役会長	平島 治
代表取締役社長	葉山莞児
代表取締役	本田泰三
代表取締役	市川正美
取締役	鶴田宣彦
取締役	南部邦彦
代表取締役	詫間博康
取締役	園田邦之
取締役	増田光男
取締役	山田 浩
取締役	山内隆司
取締役	岡本 敦
取締役	関谷哲夫
取締役	山本恵朗

*関谷哲夫、山本恵朗は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

●監査役

常任監査役 (常勤)	潮田 敬
常任監査役 (常勤)	田丸 浩
監査役	山本 正
監査役	樋口武文
監査役	岡村 甫

*山本 正、樋口武文、岡村 甫は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

●執行役員

※社長	葉山莞児
※副社長	本田泰三
※副社長	市川正美
※副社長	鶴田宣彦
※副社長	南部邦彦
※副社長	詫間博康
※副社長	園田邦之
専務役員	伊藤美喜男
※専務役員	増田光男
※専務役員	山田 浩
専務役員	萩原弘道
専務役員	岡崎洪太郎
※専務役員	山内隆司
専務役員	高橋大輔
専務役員	名和洋介
※専務役員	岡本 敦
専務役員	寺下 均
常務役員	菊岡保人
常務役員	井川文雄
常務役員	小倉勝彦
常務役員	可児才介
常務役員	小林将志
常務役員	五木田通夫
常務役員	鎌田 勝
常務役員	前田 誠
常務役員	山田潤二
常務役員	久間忠勝

常務役員	駒井勇夫
常務役員	藤原義弘
常務役員	河村壮一
常務役員	市原博文
常務役員	窪添貴治
常務役員	荒井康博
執行役員	中山靖之
執行役員	瀬川昌彌
執行役員	久保博司
執行役員	茂手木信行
執行役員	多田博是
執行役員	阿久根操
執行役員	近江秀味
執行役員	吉田達夫
執行役員	小菅 誠
執行役員	古厩 孝
執行役員	尾形 悟
執行役員	井出光康
執行役員	関根 繁
執行役員	小野沢潔
執行役員	藤原基文
執行役員	吉田 明
執行役員	小島章伸
執行役員	富永敏男
執行役員	岸本孝夫
執行役員	林 隆

※は取締役兼務者です。

株主メモ

- 1 決算期** 3月31日
- 2 定時株主総会** 6月中
- 3 配当金**
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
※期末配当及び中間配当は上記を基準日とする株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載又は記録された株主、登録株式質権者又は信託の受益権者にお支払いいたします。
- 4 上場証券取引所** 東京・大阪・名古屋
- 5 株主名簿管理人** みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒135-8722
(郵便物送付先) 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
(及びお問合せ) みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話 0120(288)324(フリーダイヤル)
- 同 取 次 所** みずほ信託銀行株式会社全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社本店
及び全国各支店
- 手 数 料**
① 名義書換: 無料
② 株券再発行: 株券1枚につき210円(消費税額等を含む) ただし、併合及び満欄の場合は無料
③ 単元未満株式の買取・買増: 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額及びこれにかかる消費税額等の合計額
④ 株券喪失登録: 申請1件につき10,500円(消費税額等を含む)、喪失登録する株券1枚につき525円(消費税額等を含む)
- 6 公告の方法** 電子公告
公告掲載URL
(<http://www.taisei.co.jp/>)
(但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。)

【お知らせ】

●配当金のお支払いについて

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。下記の配当金につきましては、お支払期限が迫っておりますので再度ご確認ください。

(お支払期限)

- ・144期中間配当金: 2006年12月11日
- ・144期利益配当金: 2007年 6月28日

※振込方式による配当金の受領にご変更の場合は、同封の『配当金振込指定書』の裏面をご覧ください。

こだわれば、 コンクリート打放し。

シャープなライン、量感あるグレーの壁面…

現代的な美しさを持つコンクリート打放し住宅。

大成建設のコンクリート打放し住宅「パルコン」は、

安定した仕上がりと高性能なデザインを誇ります。

地震に強い高度な安全性はもちろん、

住まう人のための快適性能も磨きあげました。

美しさ、性能に、こだわれば「パルコン」。

狭い土地に、夢を建てる。

Palcon
— Switch —



Good
Design
Award

問い合わせ先

 0120-197-406

<http://www.homestyle.taisei.co.jp/>

大成建設株式会社 住宅事業本部



TAISEI

大成建設株式会社

〒163-0606 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 電話03(3348)1111

<http://www.aisei.co.jp/>

地図に残る仕事。

— Filling the Map with Memories —